

# 高校の探究活動は ここまで進化／深化している！？



京都市立開建高等学校  
教頭 宮越 敬記

京都府下に堀川高校人間探究科、自然探究科をはじめとする、  
その他専門学科設置がはじまる

塔南高校の  
環境面での課題

- ・ 施設の老朽化
- ・ 狭隘な施設
- ・ アクセスの悪さ

洛陽工業跡地活用  
についての要望

- ・ 学校施設として  
活用してほしい

最先端の高校教育を展開できるよう、  
塔南を洛陽工業の跡地に移転・再編  
『新しい普通科系高校の創設』

国による  
普通科改革

開建高校 ルミノベーション科  
(その他普通教育を施す学科)

平成11年

平成26年

平成27年

令和3年

令和5年

設置学科：ルミノベーション科(その他普通教育を施す学科)

募集定員：240名

教育目標：より良い未来をめざし、個性を活かして社会を協創する生徒の育成

「希望をもって**未来を協創**することを通して、  
生徒一人一人が**新しい自分**を見つけ、  
**自らの成長**を実感できる学校」

## 育成する6つの資質・能力

学び続ける力：変化する社会においても、自由な発想で学びを楽しみ、自己を成長させ続ける力

対話力：他者の意見を受けとめ、自己の考えについて根拠をもって発信し、対話を通して新たな発想に導く力

協働力：他者を巻き込み様々な違いを乗り越えて、あらゆる場面で協働する力

思いやる心：文化的背景や考えを理解し、自他を大切にする心

貢献志：よりよい未来を目指し、その創造に主体的に向き合おうとする志

挑戦力：失敗でさえも原動力として、自己の成長や様々な課題に向き合う力

# 開建高校のモットー

- ・ 楽しみながら夢中になって学んでほしい。
- ・ 様々な活動に果敢に挑戦してほしい。
- ・ 学ぶことの楽しさや喜び, 考えることのすばらしさを体験してほしい。



「 やってみたい を やってみる  
～夢中になる学びがここにある～ 」

**ルミノベーション科**（その他普通教育を施す学科）

地域社会を学ぶのではなく、“**地域社会で学ぶ学科**”です。

地域で見えた課題に対して、1つではない答えを  
**自分たちのプロジェクト**として探究します。

各分野のプロの方との対話・協働による  
**体験的・実践的な学び**を行います。

学校内の他者だけでなく、地域の方々とも対話し、  
**多様な価値観を共有**します。

※文部科学省「新時代に対応した高等学校改革推進事業」の研究指定を受けています（R4～R6年度）

※文部科学省「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」の指定を受けています（R6年度）

# 生徒指導の考え方

## 生徒心得

- 様々なものをよく見て、自由に考えてみることに。
- 多くのことに興味を示し、自分たちでやってみたいことに挑戦する心を育てること。
- 周囲の人の考えを受け止め、対話を通じて相手の心を慮って行動すること。
- 常に自分や社会をより良くしようとする志を持つこと。

学校生活のルールとして、施設の使い方等は示しますが、禁止事項を定めたもの（いわゆる校則）のようなものは学校が一方的には定めていません。

自ら考え、自ら学ぶ力を育成する学校なので、  
入学試験の得点だけを意識した視野の狭い  
受験勉強に注力するのではなく、  
生徒自身が興味・関心を活かして学  
び、**創造力**や**問題解決に必要な柔軟  
な思考力**、**豊かな人間性**等を主体的  
に学ぶ取組に注力しています。

# カリキュラム開発の3つの柱

①授業が変わる ～学びを楽しむ～

②魅力あふれる京都をフィールドに実践する  
探究活動 ～学びと社会をつなぐ～

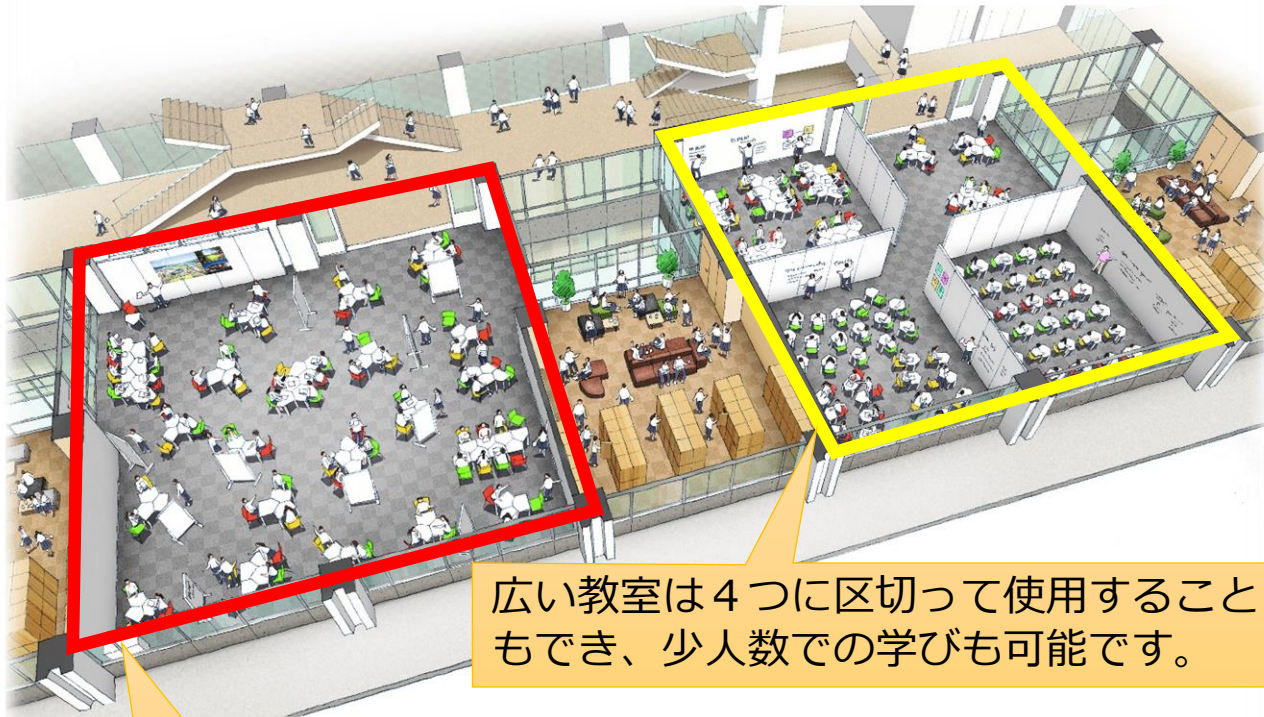
③生徒が夢中になれる課外活動  
～より深く、より広く～



# 新たな学びの環境L-podの活用

知らないことや課題に対して、自分なりの問いを立て、自分なりの方法で答えを探っていく学びを行うための教室です。「先生が教える」から「生徒が学ぶ」に転換していきます。

また、電子黒板や全館無線LANなど、最新のICT環境を整備しています。



広い教室は4つに区切って使用することもでき、少人数での学びも可能です。

16m×16m(普通教室4個分)の教室では、80名の生徒と複数教員が共に学びます。

多様な形態がとれる新しい学習空間で、「生徒の数と同じ数の学びと進路がある」という考えのもと、生徒自身が設定した目標に向かって、自分に適した方法で学ぶスタイルを生徒と教員で創ります。

# 開建高校の授業

1 クラスの人数は 8 0 人

担任の先生は 3 人

教科の担当も 3 人

(一部の教科を除く)

問いから始まる学び

開建高校  
学びの3原則

対話・協働での学び

個に応じた学び

自ら考え, 自ら学ぶ

令和5年度入学生 開建高校 教育課程表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	歴史総合	数学Ⅰ		数学A	化学基礎	地学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	Skills in Assertive English I	家庭基礎	情報Ⅰ	協創Ⅰ	ルミノベーションⅠ	LHR																
2年	論理国語	古典探究	公共	数学Ⅱ		数学B	数学C	物理基礎 生物基礎	※2 地理探究 日本史探究 世界史探究 化学		体育	保健	芸術Ⅰ (音・美・書)	英語コミュニケーションⅡ	Skills in Assertive English II	協創Ⅱ	LHR																	
								※1 文学国語 物理 生物																										
3年前期	論理国語	古典探究	倫理 政治・経済	※3 地理探究 日本史探究 世界史探究 数学Ⅲ		数学活用α 数学活用β	※4 言語活用 公民活用 物理基礎 生物基礎		※1 文学国語 物理 生物	体育	英語コミュニケーションⅢ	Skills in Assertive English III	国語探究(2) グローバルワーク(2) ローカルヒストリー(2) グローバルヒストリー(2) 数学探究(2) 自然科学探究(2) スポーツ探究(2) 発展の芸術(2) English Project(2) Academic Reading and Writing(2) 生活探究(2)	※2 地理活用 日本史活用 世界史活用 化学		協創Ⅲ	LHR																	
3年後期																		LHR																

- 総合的な探究の時間を3年まで計5単位置
- 加えて、学びのスキルを修得したり、心の体幹を鍛えたりする学校設定科目を1年次に2単位置
- 学習指導要領の科目は標準単位数で設置
- 文系・理系のコースを設置せず、生徒の興味・関心に応じて科目を選択

開建高校 総合的な探究の時間 特徴について

- ・個で進める探究と他者と協働する探究を並走し、複雑で多様な地域社会での共生のあり方を考える
- ・初期チュートリアルを終えたら、生徒の責任ある計画の立案・実行に任せ、複数の探究のサイクルを経験
- ・成果ではなくプロセスを重視し、生徒が自由に発想し、確かな自信をもって行動に移す姿勢を喚起

**フェイズⅠ**  
自己の内面に迫る

価値観や考え方、性格や特性について客観的な評価も織り交ぜ自分の内面に迫る。また、社会を見通し未来を思考するスキルや未来を創るために必要なスキルを身につける。

**フェイズⅡ**  
社会の現状に触れる

学びのフィールドとして地域社会に出て、そこで起こっていること、起こりつつあることを五感で感じる。仮説検証型の学びを通して、自己の在り方について考える。

**フェイズⅢ**  
未来を想像し、具体化を探る

ありたい未来を想像し、その実現に向けて、自分の個性を発揮し、自分らしいアプローチでまわりを良くしていくことのできる具体的な方策を探る。

**フェイズⅣ**  
他者と実現のための具体を創る

未来に挑戦する京都の企業や団体の人たちと結びつき、フェイズⅢで考えた具体化の方策を実現するイノベーションプランを考え、実現する。

**フェイズⅤ**  
未知の領域へ自分らしく挑戦

これまでの取り組みを振り返り、さらにやってみたい、さらに知りたいを生み出すことで、自らがやりたいこと、できること、すべきことに向けて新たなことに挑戦する。

さらなる問いを胸に  
羽ばたく「協創者」へ



**1年前期**  
「まずは、やってみる」

- ・協創パースペクティブ
- ・Small Start!

自己の視点を拡張し他者と協創する基本スキルを獲得

**1年後期**  
「書を携えて、街へ出よう」

- ・「京都探究」企業等から「考える枠組み」をもらい、ありたい未来を想像提言する

**2年**  
「やってみたいをやってみる」

「それしかないわけないでしょう！」  
自由な発想から「ありたい未来」を想像し、自分や他者の視点や発想と結びつけ、イノベーションへ向かう  
他学年、学校外の人々との協働を複数回経験する

**3年前期**  
「The Sky is (NOT) The Limit」

- ・自ら活動のあり方を考え、他者との協創を重ねていく

個人/グループ 研究/実践  
同年齢/異年齢 発表/実装  
など…



# 1 年生前期



各教科・科目の独立した世界のルールや内容を理解するだけではもったいない！！**教科・科目の学びから、この世界の見方・考え方を学べるはず！！**



各教科・科目のパースペクティブで『コンビニ』を試してみる

避難指示



社会課題の解決に各教科・科目のパースペクティブを試してみる



「特定のパースペクティブだけでは捉えきれない広範かつ複雑な文脈や事象を多様な角度から俯瞰して捉える」ことを各教科・科目の学びで発揮することで、各教科・科目のパースペクティブがより強固なものとし、深い学びにつなげる

# (後期)



「考える素材」  
企業・大学が活動するにあたって持っている、現状の認識や問題意識

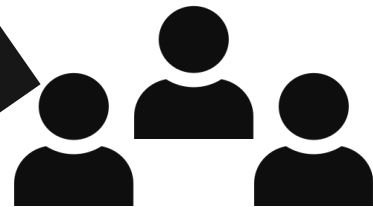
京都で活躍の企業・大学

フィードバック  
生徒の探究活動の成果について、講評をいただく

フィールドとしての「京都」



参加



開建高校1年生

「素材」の中から課題を見つけ、課題解決のための探究活動を展開  
・アプローチ方法は生徒が考える  
・調査研究、思考実験など

「素材」の例  
「日本人の仕事観、働き方を変えたい」  
「障がい者の可能性を引き出し、障がい者がより多くの場で働けるようにしたい」

# 開建コアスキルカード



**スキル**  
SKILL **前提を疑ってみる**



もしかして敵じゃないかも?

たたかうにげる

▶ [ ? ]

その時点での自らの理解に疑問を持ち、多様な視点や観点から対象を捉えなおす

「そもそも“将来の夢”を“就きたい仕事”だと思っているのが間違いかも？」  
…自分や他者の考えの前提を一度くつがえすと、既に作られた解釈が浮かび上がるかも

**属性：解釈**

**Interpretation-02**

自分の理解した方法を何度試してもうまくいかないとき

当たり前と思っていることを捉えなおしたいとき

自分の気持ちをいったん置いて、客観的に考えたいとき



# 開建コアスキルカードの特徴

- 大分類として、「探索」「分析」「解釈」「表現」を設定  
→質の高い探究を行う上で、「探索」のスキルは特に重要
- カードとして、文字通り「手札」を与えることで、様々な場面でコアスキルの活用が容易に
- コアスキルの修得には、ワークショップ型の授業を実施



## 16のコアスキル

各教科の授業や諸活動においてコアスキルを参照した声かけや指導を行うことで、探究の時間のみを使うものではなく、また、日常で必要なスキルだということを実感させる

学校説明会での生徒企画  
コアスキルカードを使って  
「未来の電車を創造しよう」

# 2年生

## スタート

「それしかないわけではないでしょう」

「それ」を発見し、「〇〇だってあるじゃない！」の  
提案を行う

- ・プロジェクトを発案・実行する形式や、問題の調査解決、学問的研究など、幅広い活動が行われている。
- ・個人で進めることも、チームで進めることも可能。
- ・学校外の企業・団体と連携した活動を希望することも想定され、授業時間中に学校外に行くことも許可している。

# 生徒の主体的な活動を支援しています！

## New HORIZON Day

普段とは違う活動にチャレンジ

～自分の興味・関心を広げ、仲間と楽しもう～

## まつり実行委員会

文化祭・体育祭をゼロから創り上げる実行委員会

企画・運営を通して、協創する力を育成

## 生徒プロジェクト

生徒がやってみたいことを実際にやってみる自主的な  
プロジェクト活動（予算措置あり）

# 開建高校でのプロジェクト（一例）

- 地域の魅力を発信！ おにぎりプロジェクト
- 地域の魅力を再発見！ ポスター作成プロジェクト
- 開建高校の魅力を発信！ 学校紹介動画作成プロジェクト
- 地域の子どもに憩いの場を！ いこっと
- 音楽で盛り上がろう！ 音楽プロジェクト
- 宇宙と交信！？ 宇宙探索プロジェクト
- 農ある暮らしらすちじんプロジェクト
- みんなで学ぼう 防災ボランティアリーダー